

小川で土留め作業

網走湖・水と緑の会 30人が春の手入れ



群生地内の小川で土留め作業に精を出す会員やボランティア

道新 08/4/13

網走の貴重な自然を守るようと、網走湖・水と緑の会（清水晶子会長）は12日、呼人のミズバシヨウ群生地で春の手入れを行った。予定していたこみ拾いは前日からの降雪でほとんどできず、土砂の流入を防ぐ土留めを中心として、約30人が参加した。同会の会員やボランティアの市民など、約30人が参加した。土留めは群生地内を通る道路わきに流れる小川に設けられた。一定間隔で打ち込んだ木杭に、互い違いにから

2008年 5月発行 呼人水芭蕉通信 4号

— 網走湖・水と緑の会 —

網走市呼人187-1森の家内 TEL 0152-48-2223 FAX 0152-48-2223

呼人は芽吹きから新緑の季節を迎えました。各地のみな様、いかがお過ごしでしょうか。呼人水芭蕉通信4号をお届けいたします。

芭蕉通信4号をお届けいたします。

● 護岸工事
懸案だった保全地小川の護岸工事が行われました。道路脇に面した部分に杭を打ち柳の枝を編んで環境保全、見映え、安全面に配慮しての工事でした。資材は市が、重機は会員の高田メンテナンスさんが提供下さいました。昨年同様農大生の参加心強かったです。柳は呼人小学校跡地から皆で切り出しました。出来ばえはいかがでしょうか。

● フォトポイントに
呼人水芭蕉群落が北海道フォトラリーのポイントに選ばれ記念碑の前に表示が設置されました。道庁（風景街道）でも紹介され多くの人が訪れました。

● 旭川の「春光台の自然を考える会」との交流が
行われ旭川の水芭蕉観察士とあわせて若山牧水歌碑建立記念に参加しました。当会からは清水晶子、竹中、林順子（たんのカタクリ）が出席、呼人養護学校を退職された遠藤先生とお会いできました。点在する旧石狩川の三日月湖の自然を守りたいと話されていました。

● 国道39号線沿い、保全地周辺（国定公園）には相変わらず風倒木が散乱し荒廃した自然を散らすところがあります。行政や個人の地主と話し合いなんとかしてはと思っています。

文責 清水晶子

生命目覚め大地に彩り

道新 08/4/22

【網走】網走市呼人、網走湖畔のミズバシヨウ群生地が見ごろを迎え、散策に訪れた市民らが真っ白い優雅な姿を楽しんでいる。

ミズバシヨウはサトイモ科の多年草で、地下に太い根茎を付ける。白い花びらのように見えるの

ミズバシヨウ群生地見ごろ

網走湖畔

は「仏炎苞」と呼ばれるに詳しい銅版画家清水敦葉の一種。群生地の保護活動をしている「網走湖ヨウはかつて湿地の象徴。水と緑の会の調べで、呼人の群生地は国道39号やJR石北線、探鳥遊歩道などの周辺の林の中に計十二カ所点在する。呼人在住で地域の歴史だ。

（伊藤一哉）



旭川春光台公園



12日に春の手入れが行われる、呼人のミズバシヨウ群生地

ミズバシヨウ群生地

「春の手入れ」実施

「水と緑の会」30人参加

網走

道新 08/4/13

群生地は、網走、大空の両市町を結ぶ国道沿いの自然林の中などに点在。春にミズバシヨウ、夏にホタル、秋にサケの遡上が見られる場所だ。同会は2002年10月から3年12月まで、群生地保護を目的に募金活動を展開。約五千平方メートルの群生地を買い取り、永久保存を条件に市に寄付した。「手入れ」はミズバシヨウが間もなく活動してきた。初めて参加した同大三年の河田大地さん（30）は「自然や景観を大切にしたい」と話している。

（川浪伸介）



活動で社会勉強になったと話している。呼人のミズバシヨウ（手前）が顔をのぞかせる水路の補強を行った「春の手入れ」

会員募集！年会費1,000円
会員の方本年度会費納入は、お願ひ致します。

郵便振替口座 02730-3-20099

ミズバシヨウ守ろう

網走タイムズ 水と緑の手入れボランティア募集

08/4

貴重な自然資源を守るため、網走湖・水と緑の会（清水晶子会長）は12日午前9時から呼人のミズバシヨウ群生地で春の手入れを行う。ボランティアの参加を呼びかけている。

当日は長靴、軍手かゴム手袋、スコップを持参し、国道39号沿いの群生地にある「呼人水芭蕉保全の碑」前に集合。こみや枯れ枝を拾い集め、土留めをする。こみ袋やくい、土留め材料などは同会が用意する。

小雨決行だが、荒天の時は中止する。詳しくは清水晶子会長（0152-48-2223）まで。

今月末には呼人の湿地に自生するミズバシヨウが、白い大きな花を咲かせ、みなさんの協力を得てきれいになった群生地を観光客に楽しんでもらいたい」と、参加を呼びかけている。

